

**製品名: GSK3B マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80814**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	46kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GSK3B
別名	GSK-3 $\beta$ ; GSK3-beta
遺伝子 ID	2932.0
SwissProt ID	P49841
免疫原	大腸菌で発現したヒト GSK3B の精製された組み換え断片。

**背景**

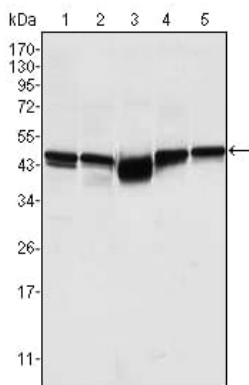
グリコーゲン合成酵素キナーゼ 3 (GSK-3) は、2つのアイソフォーム ( $\alpha$ および $\beta$ ) を有するセリン-スレオニンキナーゼであり、当初はグリコーゲン代謝における重要な酵素として発見されました。その後、GSK-3 は細胞分裂、増殖、運動、そして生存に機能する

ことが示されました。GSK-3は、がんや糖尿病を含む多くの病態に関与しており、神経疾患の重要な構成要素としてますます認識されています。GSK-3は、アルツハイマー病の発症に関与するタウおよびプレセニン-1をリン酸化します。GSK-3の両アイソフォームは普遍的に発現していますが、特に脳ではGSK-3βが高レベルで存在し、NMDA受容体輸送の調節を介してシナプス可塑性に関与していると考えられています。GSK-3は、シグナル伝達タンパク質、転写因子、構造タンパク質など40種類以上の基質をリン酸化します。また、多数の成長因子やサイトカインのシグナル伝達カスケードの一部でもあります。GSKの活性はリン酸化 (Akt: GSK-3aのSer21とGSK-3のSer9におけるAktを介したリン酸化) によって制御されます。

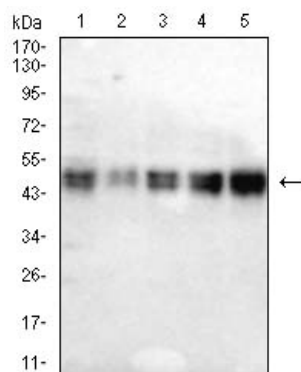
## 研究分野

Wntシグナル伝達経路、PI3K-Aktシグナル伝達経路

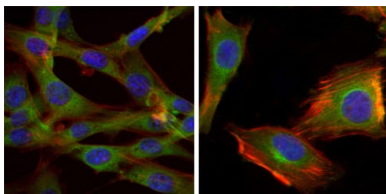
## 画像データ



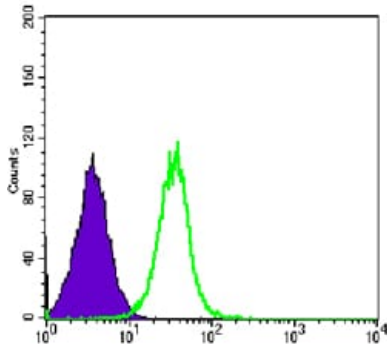
A549 (1)、K562 (2)、PC-12 (3)、NIH/3T3 (4)、およびHEK293 (5) 細胞溶解物に対するGSK3B マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



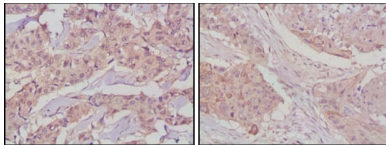
COS7(1)、C2C12(2)、NIH/3T3(3)、C6(4)、PC12(5)細胞溶解物に対するGSK3B マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



GSK3B マウス mAb (緑) を用いた NIH/3T3 細胞 (左) および U251 細胞 (右) の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



GSK3B マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



GSK3B マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト肺がん (左) および乳がん組織 (右) の免疫組織化学分析。